

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

### ①第三者評価機関名

株式会社経営志援
----------

### ②評価調査者研修修了番号

22地福第1000-36号
S2019033
S2020101

### ③施設名等

名称：	赤ちゃんの家さくらんぼ
施設長氏名：	栗原 英樹
定員：	20名
所在地(都道府県)：	愛知県
所在地(市町村以下)：	犬山市富岡洞田1163番地
T E L：	0568-65-0989
U R L：	https://inuyama-sakura.jp/
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	2005/10/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人犬山福祉会
職員数 常勤職員：	32名
職員数 非常勤職員：	14名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	33名
有資格職員の名称（ウ）	看護師
上記有資格職員の人数：	7名
有資格職員の名称（エ）	管理栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（オ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（カ）	調理師
上記有資格職員の人数：	2名
施設設備の概要（ア）居室数：	ばななの部屋（観察室、病室）、ぶどう部屋（ほふく室）、みかん部屋（遊戯室）、いちご部屋、ももの家
施設設備の概要（イ）設備等：	厨房、ランチルーム、親子生活訓練室
施設設備の概要（ウ）：	風呂・沐浴、トイレ、洗濯室、相談室、事務所
施設設備の概要（エ）：	園庭、築山、島

### ④理念・基本方針

<p><b>【理念】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. わたしたちは、地域住民や、行政機関と連携して、子どもたちの人権と最善の利益を守り、社会保障制度の拡充に努めます。</li> <li>2. わたしたちは、利用者から信頼される施設運営をめざし、発展させます。</li> <li>3. わたしたちは、この事業にたずさわる職員集団が労働者としての自信を持って働けるよう学習し、職場の労働条件の改善をします。</li> <li>4. わたしたちは、生命と暮らしを守るために戦争に反対し、平和な社会をめざします。</li> </ol> <p><b>【基本方針】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どもたちに「もうひとつのあったかいお家」となるように乳児院づくりをすすめます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、安全で楽しく豊かな生活を送れるよう生活環境を整えます。</li> <li>・一人ひとりを大切にする養育内容を、検討し実践します。</li> </ul> </li> <li>②保護者とともに子どもを育てます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものいない生活が当たり前にならないよう、親子が触れ合える機会を作っていきます。</li> <li>・家庭に帰った子どもと、親がうまく暮らしていけるように養育支援をします。</li> </ul> </li> <li>③職員が生きいきと働き続けられる乳児院をめざします。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者（子どもと親）の立場に立って、振り返り自己研鑽に繋がります。そして職員のよりよい処遇の向上を目指して、努力します。</li> <li>・職業病を出さない環境づくりに取り組みます。</li> </ul> </li> <li>④地域に根ざした子育て支援センターをめざします。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園や母子生活支援施設とともに、利用者や地域の保育要求を受け止め「子育て支援」の観点で、地域に親しまれる乳児院をめざします。</li> </ul> </li> </ol>
--

⑤施設の特徴的な取組

- ①保護者支援
- ②職員が働き続けやすい環境づくり
- ③子どもが安心・安全に過ごせる環境づくり
- ④自園調理

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2021/9/1	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2022/3/31	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度	

⑦総評

<p>◎特に評価の高い点</p> <p>【継続的な保護者支援】 保護者の支援は施設全体で力を入れて取り組んでいる。保護者が相談しやすい、来やすい雰囲気づくりに努めており、職員の接遇や保護者への適切な対応について指導するなどして意識を高めている。保護者アンケートからは、「挨拶がしっかりしている」「無理に聞こうとせず気長に待ってくれる」など、丁寧な対応についての評価が高い。また、子どもの命を第一に考え、児童相談所や他の関係機関と連携し、退所後の継続的な支援が行われている。さらに、長期的な支援に向けて取り組む姿勢は評価できる点である。</p> <p>【改善に向けた前向きな姿勢】 第三者評価や自己評価の結果を真摯に受け止め、改善に向けて前向きに取り組む姿勢が感じられる。家族的な施設で女性が多い職場の中で男性施設長の役割が難しい面も見られるが、リーダークラスの職員と施設長との信頼関係や職員への感謝と期待が高く、目標を共有し一丸となって取り組む体制がある。</p> <p>●改善が求められる点</p> <p>【総合的な人事管理の構築】 今以上に人材確保が困難になることが予測される中、採用した人材をどのような育成し定着させていくのが課題となっている。期待する人材像に向けた人材育成計画やキャリアパス制度の構築、そこからさらに人事考課制度や昇給制度等への運用に至る取組が求められている。</p> <p>【職員への周知の工夫】 理念や事業計画、改善すべき課題や各種マニュアル、自立支援計画等は、正規職員のみならずパート職員への周知と理解を促す取組に期待したい。併せて、伝えてはいるものの十分に伝わっているかどうかの確認も必要と思われる。</p>
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>今回の第三者評価については、施設の実情をできるだけ率直にお伝えし、評価いただいたと思います。改善点などを今後に活かし、具体的な計画にすることで、目に見える改善につなげていきたいと考えております。</p>
--

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
法人理念、基本方針は明文化され、ホームページ、施設パンフレット等に記載されている。また事業計画書にも明記され、事業内容とともに法人理念など基本方針についても職員会議で確認している。保護者への周知やパート職員への浸透を課題と捉え、パート会議でも理念等を確認する機会を設けるなどの改善が見られる点もあり、今後の取組に期待したい。		

## 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
	<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/>社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
経営状況については、過去5年間について会計事務所が分析したデータを有している。またその分析データ等を活用し、事業計画や社会的養育推進計画に反映させている。情報の入手に関しては、全乳協や全国、地域施設長会議等への参加で他の施設の経営状況を把握するようにしている、課題としては、職員が経営状況を分析し理解することとしている。		
	<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/>経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/>経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
経営課題に関する法人全体としての課題、施設ごとの課題は、事業計画および社会的養育推進計画に記載されている。今後の経営上の課題に対する取組として、働き方改革、BCP対策、人材確保・育成面等を挙げている。またこれらの課題に関して職員会議で職員に周知したり、大学教授を招いての学習会等の実践を検討しているが、コロナ禍で実施できない事情があり、コロナ禍明けの実施に期待したい。		

## 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
	<p>① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
中・長期的ビジョンは、「社会的養育推進計画」に10年スパンで計画が策定され、支援方針、ニーズへの対応策、他機関との連携など概略を示しているが、その解決策、改善方法について、数値目標や具体的な成果・ゴールの具体性に欠ける点が散見され、改善が望まれる。また、中・長期ビジョンにおいても、数値的で具体性のある目標の設定や収支計画の具体性に期待したい。		

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【判断した理由・特記事項等】

中・長期ビジョンにある「一時保護入所への対応」や「里親支援」に関する方針を、単年度の事業計画に反映している。しかし、収支計画については記載がなく、計画項目別に予算、期日など記載があるとより良い計画となる。今後の課題としては、年度終了時に実施状況についての評価を行いやすくするため、実施状況等をできる限り数値化する等の検討が必要であろう。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

事業計画の策定にあたり、毎年度、職員全体で総括している。職員によるプロジェクトチームを発足させる等、話しやすい雰囲気を心がけた職員参画の機会を設けている点は評価できる。しかし、計画策定において、各職員が課題を分析して次期計画に反映するなど職員の課題分析力を高めることや、パート職員に至るまで全職員が参画できる場を設けることが課題であると施設長のヒアリングから確認した。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者への事業計画の周知は、パンフレット、利用のしおり、注意事項を配布し、施設の利用や退所後の関わり等について説明しているが、事業計画は配布していない。施設の特性上、すべての保護者に説明し理解してもらう難しさはあるが、実際に説明を受けた保護者の「非常に丁寧に説明を受けた」という利用者アンケートの結果から、丁寧な説明が窺える点は評価したい。

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	○

<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【判断した理由・特記事項等】

前回の第三者評価の結果は職員会議で共有しているが、その結果から課題を整理し分析するという取組には至っていない。日頃の養育・支援に関しては、職員会議や半期総括等を通して話し合う機会を設けている。パート職員を含む職員全体で、第三者評価の結果を分析し、PDCAサイクルを意識した取組に期待したい。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

第三者評価の結果を共有しているが、分析から課題設定等の取組の計画的な実施には至っていない。前回の結果からの変化としては、法人のホームページを改善した点がある。毎年の自己評価や第三者評価の結果をより有効に活用する機会の創出等、定期的なPDCAサイクルの構築の工夫が課題である。

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果	
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長の方針は、事業計画にビジョンが示されている。自らの職務分掌については、業務分掌表を毎年職員に配布し、各自の業務分掌について共有・確認している。また、有事に対応するための役割分担など、指示命令システムを確認している。近年、福祉施設に策定が求められているBCP(事業継続計画)の策定に取り組んでいる点は評価できる。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

基本コンプライアンスに関して、情報収集や学びを続けている。近年、重要事項となっている労働関係法令、ハラスメント、虐待防止、メンタルヘルス対策等に関しては、弁護士など専門家を講師に迎え(検討中)、職員が研修を受講できるような仕組みを整えている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
(5種別共通)	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は、養育・支援の質の向上に関する課題を理解しており、その上で、幹部クラスが参加する体制会議やリーダー会議で養育・支援の質の向上に向けて、相互に研鑽できる学びの環境を作っている。現状は、課題を施設長とリーダーが共有し、リーダーが中心となり現場で指導している。リーダークラスへの施設長の信頼・感謝と期待が高い様子がヒアリングから垣間見える。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

女性職員が多く、女性職員が働きやすい職場の形成が中・長期計画に示されており、職員が継続して働ける職場に向けた改善には積極的な姿勢が見られる。また、職員の間関係性を円滑にするため、意見を言いやすい雰囲気づくりにも注力している。職員の業務負担の軽減の視点から、事務作業の効率化や勤怠管理システムの導入等を積極的に実施している点は評価できる。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

人材育成の方向性と期待する人材像は、中・長期計画(社会的養育推進計画)に記載され、今後の職員配置体制や必要な資格者の数値目標が定められている。今後は、今以上に人材確保が厳しくなることが予測されることから、この計画を実現するための人材確保の具体策や人材が定着しやすい職場環境の形成等、より具体的な人材育成計画を検討されることに期待したい。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	

<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	

【判断した理由・特記事項等】

人事管理に関しては、今後の課題としている。期待する人材像は、社会的養育推進計画やホームページに掲載されているが、その人材像に向けた具体的な育成計画やキャリアパス制度の仕組みは構築されていない。人事考課や昇給制度等、人事制度の中核部分に関しても、何から着手するのか検討を始めることは必要ではないかと感じる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

働き方改革が推進される中、パート職員採用による時間外労働の削減や有給休暇や希望休の取得等、労働環境の整備に注力している。また施設内で個人面談を実施し、職員の意見を聴き、健康に働くことができるワークライフバランスを意識した職場づくりを形成している。今後も、育児介護休業法の改正等、女性や若い職員が継続して勤務できる体制の整備に注力されたい。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

新人職員には1年の業務を振り返るフィードバック面談を実施し、個別目標の確認、自己評価チェックシートにて「勤務、安全、健康、食事面」等を振り返る仕組みがある。しかし、中堅職員以上に関しては、自己研鑽・自己評価に任せている。今後は、全職員に対する定期的な面談の実施と、各職員の業務の振り返りや目標設定を上司と確認することで、職員のモチベーションアップにつながると思われる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	

<input type="checkbox"/>	定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/>	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

研修実績と研修計画は、事業報告書および事業計画書から確認できる。計画書における研修は、研修の方向性が示されているものの、研修名、対象者、時期等具体的な記載がないため、できる限り具体的な計画への落とし込みに期待したい。しかし、多くの研修に参加しており、コロナ禍においてもオンライン研修を受講する等「学びを止めない」という積極的な人材教育は評価できる。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
<input type="checkbox"/>	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
<input type="checkbox"/>	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
<input type="checkbox"/>	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/>	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
(5種別共通)	スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

新人職員に関しては、自己評価チェックシート等により個別の知識・業務レベルを把握する仕組みがある。また、月1回の学習会等、研修の機会は確保されている。研修受講後の報告書を記載しているが、職員から受講した職員が他の職員に研修内容を伝える「伝達研修」をしてほしい希望があり、人材教育上大切な取組であることから今後の実践に期待したい。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<input type="checkbox"/>	実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/>	実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
<input type="checkbox"/>	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/>	指導者に対する研修を実施している。	○
<input type="checkbox"/>	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

実習生の受入れに関しては積極的な姿勢である。実習指導にあたり主担当を決めるが、当日の担当は交替で実施することで職員の負担軽減を図る等工夫している。また、指導主担当への指導、実習懇談会を実施している。実習カリキュラムには「社会的養護の在り方、社会的養育ビジョン、相談援助の基本」等が記載され、実習生に伝えることが準備されている。大学とは、施設での実習の目的等について意見交換や連携が行われている。

### 3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
<input type="checkbox"/>	施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
<input type="checkbox"/>	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	



<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人のホームページに決算状況、事業報告、事業計画、法人理念、基本方針等が公開されている。その他、施設紹介のパンフレットが作成され、施設見学の大学生や民生委員等に配布している。第三者評価を受審しており、第三者評価の結果や自己評価等も積極的に公開していくことに期待したい。

② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	

【判断した理由・特記事項等】

事務に関する規程である就業規則や賃金規程は、随時見直しが行われている。また、施設管理のための経理規程、管理規程等も整備されている。内部監査、会計士による外部監査や経営分析等が実施されている。今後は、監査や分析等のデータを経営改善に活用し、実践することに期待したい。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 子どもと地域との交流を上げるための取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	

【判断した理由・特記事項等】

施設と地域との関わりの方針は、社会的養育推進計画や事業計画に記載されている。コロナ禍で行事は実施できない面があるが、児童センター、図書館、買い物の利用等で地域との関わりは平時から行っている。施設の特性や子どもの安全性の観点から、今後の地域との関わりの方針について思案している。

② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

現状、ボランティアの受入れについて、施設の特性もあり、積極的とは言えない。ボランティア受入れに関するマニュアルも作成していない。現在はボランティア団体（一寸奉仕の会）に、畑の管理や草刈り等の作業をお願いしている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。	
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○

<input type="checkbox"/>	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/>	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
<input type="checkbox"/>	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/>	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

施設と連携する社会資源（児童相談所、病院、学校、自治会等）と連携を深める取組を行っている。しかし、一部関係機関とは、個人的な関係となっていることがあり、今後は法人としての関わりとなるような連携を深めることに期待したい。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	施設（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

施設の有する専門性や特性を活かした相談事業として「さくらんぼサロン」を実施している。地域住民との交流等は、施設長の個人レベルでの関わりに留まっている点があり、今後の課題としている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
<input type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
<input type="checkbox"/>	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
<input type="checkbox"/>	施設（法人）が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
<input type="checkbox"/>	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

「さくらんぼサロン」を開催し、地域の養育・支援に関する相談事業を行っている。今後の地域の福祉ニーズとして、訪問型の支援なども前向きに検討していきたいと考えている。また、法人の地域公益事業として、同一法人内の保育園での子育て広場を共同で実施していくことを検討している。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1)	子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

各クラスやグループで1年間の目標や目指す子どもの姿を掲示し、子どもを尊重した支援に努めている。また、半期ごとの「子どもと共に育っていくための自己評価チェック」の結果や日頃の養育・支援で不適切な関わりが見られる場合には、体制会議で継続的に指導したり話し合うほか、子どもとの関わり方やコミュニケーション、虐待の研修等により改善を図っている。



養育・支援の継続性は設立時から大切に取り組んでいる。クラス移行時は、安心して移行できるよう2ヶ月前から慣らし保育を行っている。退所時には担当職員が発達状況や健康に関する引継ぎ文書を作成し、児童相談所経由で伝えている。また、アフターフォローとして愛知県下であれば退所して約3ヶ月後をめぐりに児童相談所の職員や家庭支援専門相談員、担当者が訪問し、状況を確認したり写真撮影を行い、職員で共有している。さらに長期的な支援の必要性を感じ、次年度以降取り組む予定がある。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

日々の関わりの中で、子どもの様子を見ながら満足しているかどうか把握している。行事後の担当者全員の評価・反省からは、子どもの楽しむ様子や笑顔の様子が垣間見える。保護者へは、毎月、行事での子どもの写真のほか身長・体重、好きな食べ物やおもちゃ、今頑張っていること等を掲載したさくらんぼだよりを送付したり、面会や外泊の際に子どもの様子を伝えるなどして、保護者から喜びの連絡をもらうこともある。また、3年に1度の第三者評価での保護者アンケート実施により、保護者の満足度の把握と改善に向けた検討を行っている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決体制が整備され、それに則って対応しているのは記録から確認できたが、苦情解決規程の日付が古く更新が確認できなかった。苦情相談ポスターの掲示や入所時の説明で何かあれば申出できることを伝えており、受付担当者である家庭支援専門相談員を中心に解決に向けた対応、職員への周知が行われている。しかし、苦情解決の仕組みの職員への周知や苦情内容及び解決結果の公表には、改善の余地がある。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設として、相談しやすい環境や雰囲気づくりに配慮している。来院の際は、きちんとした挨拶から始まり、職員からの声かけ、事前に部屋を暖める(涼しくする)、スリッパを用意しておく、玄関で待つといった迎え入れる雰囲気を大事にし、先に話をするか子どもと関わるのかを選択できるようにしている。また来たくなるようにみんなで迎え入れてお見送りする「接遇」を意識している。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

家庭支援マニュアルを相談対応マニュアルとして活用している。保護者からの相談や意見への適切な対応として、面会時に何を見るのか、否定的な言葉を言わない等の指導を行っている。面会記録はすぐに共有し、クラス会議やケース会議、リーダー会議を通じて、対応を検討、報告する仕組みがある。保護者からの相談や意見へのフィードバックは、状況に応じて直接保護者もしくは児童相談所経由で保護者に迅速に回答している。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

安全マニュアルや緊急時対応マニュアル、リスクマネジメント体制を整備し、子どもの安心・安全の確保に努めている。事故報告書には、事故時の多忙度やリスク予測の可否、システムの改善の記載があり、安全衛生会議にて再発防止策が検討されていることが確認できる。また、毎月の職員会議で看護5分間学習を取り入れており、いざという時に動くことができるよう継続的に学ぶ機会を設けている。写真付きのお散歩マップの検討や電話対応マニュアルの更新など防犯への意識も高まっているが、ヒヤリハットの積極的な収集があるとさらに良い。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

日頃から出勤時と退勤時のマスクの交換、検温の記入、換気や消毒等感染症予防に努めている。看護師が新型コロナウイルス対応のポイントや病児ケアの基本等のセミナーに参加し、看護マニュアルやコロナ感染後の対応マニュアル等の見直しを行っている。また、嘔吐や下痢の処置方法のマニュアルを作成し、職員にわかりやすいように工夫している。新型コロナウイルス感染症への対策は毎月の職員会議で話し合い、適切な予防及び対応に努めている。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

年度初めの院内研修では、防災学習会と称した防災ゲームを行い、安全衛生委員でもある担当者が考案したゲームを通じて楽しみながら防災の知識と意識を高めている。また、様々な災害を想定し、毎月防災訓練を実施している。訓練実施後は、職員全員の評価・反省をもとに安全衛生会議で課題を検討し、次の訓練内容に活かしている。BCP（事業継続計画）を策定し、次年度より運用を予定している。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

いちご組・ぶどう組の各クラスのマニュアル、家庭支援マニュアル、看護、食育、安全マニュアル等作成している。クラスのマニュアルには、日課に応じた業務手順のほか生活リズム（睡眠・排泄・沐浴・入浴・あそび）、発達について等、様々な養育・支援場面における職員の配慮するポイントをまとめている。入職時のオリエンテーションで説明したりクラスマニュアルは配布しているが、パート職員への周知徹底には課題があり改善が望まれる点である。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

各マニュアルは、毎月の各会議で話し合い、検証・見直しが行われているが、見直し後の周知・徹底には課題があり、改善が望まれる。

### (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

入所時の児童相談所のアセスメントシートをもとに、家庭支援専門相談員や個別対応職員がアセスメントを行い自立支援計画を策定している。アセスメントでは相談に至るまでの経緯や生育歴、家庭の状況や保護者の意向などを把握し、児童相談所と方針が合わないこともあるが、子どもの様子を見てもらうなど働きかけることで適切な計画の策定に努めている。パート職員には、ミーティングノートを活用して家庭の状況などは伝えているが、自立支援計画の内容の周知と計画に沿った養育・支援の実施が望まれる。

② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

月案はクラス目標、グループ目標を作成し、毎月評価・見直しを行っており、クラス会議やグループ会議を通じてグループの職員や夜勤の職員の意見を取り入れている。自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることは記録から確認できた。面会や外出・外泊への段階的なステップアップ前や家庭引き取りに移行に向けて現状を把握するため、児童相談所と方針が合わない時等はケース会議を開催し、支援の見直し等を検討しているが、自立支援計画の定期的な評価・見直しには改善が望まれる。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの養育・支援の様子や家庭状況などは、毎月の各会議やミーティングノート等で共有している。書類の提出や何を記録するのかについてのマニュアルはあり、書き方のマニュアルはないが毎回リーダーが添削し指導している。施設において何かあれば、施設長、施設長不在時は家庭支援専門相談員に報告する流れとなっており、その後情報の分別と伝達が行われている。記録のICT化を検討しており、それにより業務の効率化と確実に情報が共有される仕組みづくりに期待したい。

② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○

<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

個人情報保護規程や開示規程を整備し、適切な管理に努めている。子どもの記録は個人別にまとめ鍵付きの書棚に保管しており、会議資料等の外部への持出禁止等を実践している。また、電話での問い合わせ対応のロールプレイングで、個人情報の保護および非開示について学んだ。今後、ICT化を進めたい意向があり、それによる記録の保管や保存、セキュリティ管理などがより適切に行われることに期待したい。

内容評価基準（23項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

権利擁護に関する規程やマニュアルに基づき、新人研修等に取り入れている。日頃から子どもの権利を守る意識と権利擁護の姿勢で取り組んでいる。さらなる取組として職員全体での研修や共通認識が図れるよう学習会を重ね、職員の理解と実践を図りたいと考えている。

(2) 被措置児童等虐待の防止等	
① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもを尊重し不適切な関わりにならないよう心がけており、言葉のかけ方が気になる場合は、その都度声をかけ指導している。子どもが安心して生活でき、子どもの心を満たす関わりが徹底できるよう職員全体で研修するなどしてさらに理解を深めたいと考えており、今後に期待したい。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	



<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のかれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

グループ制で担当を固定化しているため、子どもの安心と子どもに寄り添った養育に繋がっている。子どもが泣いたりした時は気持ちを受け止め、喜びや楽しい気持ちと一緒に共有することで、愛着関係を育てている。

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

子どもが様々な生活体験ができるよう会議で検討したり、月齢に合わせた安心安全な環境づくりが行われている。記録からも発達に応じた関わりが適切に行われていることが確認できる。生活空間は広く清潔に保たれ、床下暖房や高い吹き抜けなど心地よい空間となっている。玩具は、購入した物や手作りのものなど工夫されており、自分で選べるようにしている。

③	A5 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

カタカナやL字ブロックを使った知育、足腰の力を強くするための遊びなど一人ひとりの月齢や発達、特性に応じた環境を整えている。また、子どもの欲求に対して言葉かけや気持ちを受け止めるよう心がけている。少人数のグループ制で担当が子どもを把握できる強みを活かし、日々の成長や変化に気づき、担当同士が共に成長を喜んだり愛情深く関わっている様子が記録から窺える。

(2) 食生活

①	A6 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	<input type="radio"/>

生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

子どもの発達に応じた摂取量の目安を設定し、体調に合わせ、必要に応じ看護師と連携し量や時間を調整している。授乳時は、無理に飲ませようとせずできるだけ時間をかけてゆったりと関わり、個別に配慮が必要な場合も、子ども一人ひとりの状況に応じて職員が共通認識のもと対応できるようにしている。

②

A7 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。

a

在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。

個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。

食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。

噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。

栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。

【判断した理由・特記事項等】

食育部門と保育部門が連携して対応している。離乳食移行期には、体重増加や体調を見ながら細やかな対応に努めている。栄養士や調理員が子どもの食事の際の表情や食事動作を見て、子ども一人ひとりの状態に合わせた形状や固さ、触感など五感に働きかける調理を工夫している。

③

A8 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。

a

食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気できちんと食べられるよう工夫している。

子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。

乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。

食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。

養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。

食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。

日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。

お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。

栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

楽しく安全に食べることができるよう様々な工夫がなされている。食事の部屋は清潔に整えられ、テーブルの高さだけでなく、椅子は王様椅子（背もたれ高く、ひじ掛け）・背もたれ、ひじ掛け・背もたれのみ、の3段階で体の機能や成長に合わせて使用している。壁には「ベビーサイン」（非言語の表現）を貼り、言葉かけとともにジェスチャーで表現するなど楽しくコミュニケーションがとれるよう配慮している。調理職員と養育職員が連携し、子どもの情報を共有しながら楽しく食べられるよう努めている。

④

A9 栄養管理に十分な注意を払っている。

a

十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。

栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。

乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。

乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。

	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

栄養士は、子どもの嗜好や栄養バランス、体重から一人ひとりの適量を把握し、献立を作成している。苦手な食べ物が食べられるよう、形や味付け、調理法を工夫している。野菜の収穫体験や季節感のある食事等の食べることへの興味を持たせる体験を通して食育に取り組んでいる。アレルギーへの対応は、初期・中期・後期・完了期と段階を設け、慎重に進めている。

(3) 日常生活等の支援

①	A10 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きひものものを、動きが活発にならたら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

衣類は担当の職員が購入しており、下着は肌を刺激しない綿100%素材のものを購入している。選ぶ際は、色や形、喜びそうなものを選び、サイズも大きすぎることのないよう配慮している。季節や気候にも十分配慮し、汗をかいた時には1日に何回も着替えることもある。また、衣類の洗濯や収納にも配慮し清潔な管理に努めている。

②	A11 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

換気、湿度、温度、音等は、不快な状態にならないよう、また快適な睡眠がとれるように配慮している。睡眠チェック表で眠りの状態を把握し、記録をもとに一人ひとりの発達や体調を共有し、十分な睡眠が取れるようこころからの両面から原因を探り改善に努めている。子守歌や優しくとんとんしながら寝かしつけ、安心して睡眠できるよう心がけている。

③	A12 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

入浴時の視診や体温計測など体調を確認し、安全に入浴できるよう努めている。子どもの年齢や発達、発育に合わせて入浴、沐浴を行っており、声かけや浴室用のおもちゃを用意するなどして、楽しく入浴できるよう工夫している。抱っこ入浴や安心できるような声かけでスキンシップを図り、子どもの不安を理解して安心できるようにしている。体温が37.5℃以上入浴できない時は、清拭などの対応で清潔を保持している。

④	A13 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味が持てるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

プライバシーに配慮しながら、排泄状況や皮膚を観察し支援している。「きれいになったね」等の声かけで「排泄が嫌なこと」にならないように優しく接している。手技にも配慮しており、今のところおむつ交換を嫌がる子はいない。トイレトレーニングは手間を惜しまず行い、排泄の自立に向けた働きかけが行われている。

⑤	A14 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

日々の生活を楽しく安全に過ごせるよう様々な工夫が行われている。子どもがどんなおもちゃに興味を持っているか、発達段階に合わせた遊びができているか等を職員同士で話し合い検討している。誕生日やクリスマスプレゼントは、子どもの好みや興味があるものを用意し、喜んでもらえるようにしている。歩行の自立に繋がるよう配慮した牛乳パックで作ったカタカタなどの手作りおもちゃは、子どもに人気がある。

(4) 健康

①	A15 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

月2回医師が訪問し、健康チェックや相談を行っている。1日3回の体調の申し送り、情報を共有している。毎月の法人運営会議でコロナ対策や健康に関する報告があり、決定事項は職員に会議等で伝えている。体調が変化した時や異常がある時は、看護師が主導し、処置および対応方法の指示のもと迅速に対応できる体制となっている。

②	A16 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

病・虚弱児等は、医師の定期的な診断と医師の指示もと、健康管理が行われている。特に注意することや養育上配慮することは、申し送りや会議で情報を共有している。服薬管理において、同名の子どもの場合はフルネームでWチェックするなどして誤薬がないようにしている。必要に応じて、リハビリや日常生活上必要な支援（補聴器、眼鏡、入浴方法等）や留意点を共有し、適切な支援に努めている。

(5) 心理的ケア

①	A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

心理の専門職は配置していないが、家庭支援専門相談員が中心となり保護者からの相談に対応している。傾聴を心がけ、心配事や心穏やかでない状態に対応している。専門的な判断や治療を要する場合は、病院を紹介するなど支援している。子どもに対しては、担当の職員が心理面の支援を行っている。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A18 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に対応するための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【判断した理由・特記事項等】

家庭支援専門相談員が電話で子どもの様子を伝えたり相談に対応している。相談ややり取りの記録から、丁寧な対応が行われていることがわかる。また、担当職員は、毎月子どもの様子や成長ぶりを写真付きのおたよりで伝えたり、面会時は、迎え入れる雰囲気づくりを大切に、保護者が安心して話ができるよう声かけをしている。これらの取組への保護者の評価が非常に高く、保護者からの信頼が得られていることが窺える。

②	A19 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○

<input type="checkbox"/>	□入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

子どもの命を第一に考え、退所前から丁寧に進めている。施設として積極的に取り組んでおり、情報の把握や状況を理解して対応できる場所、命を守るかかわりが強みである。面会・外出・外泊を計画的に実施しており、段階に応じて保護者と子どもの様子や関係を見守りながら慎重に対応している。さらには児童相談所や他機関と連携し、施設としての役割を果たすべく子どもの命を第一に考えて取り組む姿勢は評価できる。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A20 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/>	□子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

子どもの退所後の生活を把握するため、家庭環境や家族の様子、家族関係を時間をかけて見守る姿勢がある。アフターフォローとして愛知県下であれば退所して約3ヶ月後をめぐりに児童相談所の職員や家庭支援専門相談員、担当者が訪問し、状況を確認したり写真撮影を行い、職員で共有している。2年に1回、里帰り交流会を開き集う機会を設けている。さらに長期的な支援の必要性を感じ、次年度以降取り組む予定がある。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A21 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
<input type="checkbox"/>	□養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	□相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

里親支援専門相談員が中心となり取り組んでいる。里親を希望する家庭の情報を把握し、その意向に沿った計画に基づき進めている。職員会議で情報を共有し、施設全体で進めている。家庭生活体験・外出・外泊体験は、家庭の雰囲気を経験し、その様子からの情報をもとに計画に加え、不安がないように丁寧に進めている。里親へは、里親向けに作成した子どもとのかかわり方、授乳、離乳食、発達マニュアルを配布したり、里親実習の受入れ等実施している。

(9) 一時保護委託への対応

①	A22 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
<input type="checkbox"/>	□児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/>	一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	○
<input type="checkbox"/>	入所時の健康管理に努めている。	○
<input type="checkbox"/>	感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
<input type="checkbox"/>	多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づき支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

一時保護委託は児童相談所と連携し積極的に受け入れており、多くの受け入れ実績がある。命を守ることを第一に考え、夜間の人員配置を手厚くし受け入れを強化している。受け入れ入所時対応マニュアルに基づき、受け入れ時は感染症等の健康状態を把握し、医師と連携している。医療、養育の職員、栄養士、事務等が必要な情報を共有し、速やかに自立支援計画が作成できるようにしている。

②	A23 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a	
	<input type="checkbox"/>	児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/>	緊急一時保護を受ける際の手厚いマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/>	観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/>	入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/>	感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	○
	<input type="checkbox"/>	受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

緊急一時保護委託が児童相談所を連携し積極的に受け入れを行っている。夜間の人員配置を手厚くし受け入れを強化しており、アレルギーや医療的ケアが必要な場合は、各部門と相談の上対応を考えたのち受け入れている。発熱等で感染症の恐れがある場合は、経過を観察している。受け入れ入所時対応マニュアルに基づいた受け入れと、受け入れ後は他職種によるチームケアでの養育が行われている。